

令和4年度 保育園等利用児童募集要項

令和4年4月1日入園版

町では、令和4年度の保育園等の新入園児（令和4年4月1日入園）について、次のとおり園児募集します。希望される保護者の方は、この募集要項をご覧の上、ご応募ください。

1 募集対象施設

募集対象施設は、次の表のとおりです。

| 施設の種類 | 施設の名称・住所 | 受入児童の月齢 (令和4年4月1日現在) | 運営主体 |
|--------------------------------|---|-------------------------|-------------|
| 保育所 | 木野北保育園 (木野西通12丁目8番地) | 生後6か月を経過～ 5歳児まで | 音更町 |
| | 柳町保育園 (柳町仲区16番地) | 生後6か月を経過～ 5歳児まで | (学)帯広葵学園 |
| | 木野南保育園 (木野東通4丁目2番地) | 生後57日目を経過～ 5歳児まで | (福)大谷菩提樹会 |
| | 鈴蘭保育園 (中鈴蘭元町2番地10) | 生後57日目を経過～ 5歳児まで | |
| 認定 こども園 (保育所部分) | 音更認定こども園 (新通9丁目3番地) | 生後57日目を経過～ 5歳児まで | (福)音更福祉事業協会 |
| | 宝来こども園 (宝来仲町南1丁目10番地) | 生後57日目を経過～ 5歳児まで | (福)大谷菩提樹会 |
| | 緑陽台認定こども園 (緑陽台仲区35番地) | 生後6か月を経過～ 5歳児まで | (学)帯広葵学園 |
| | 駒場認定こども園 (駒場南1条通3番地) | 生後6か月を経過～ 5歳児まで | |
| | 認定こども園帯広大谷短期大学附属 音更大谷幼稚園 (希望が丘3番地3) | 3歳児～5歳児まで | (学)帯広大谷学園 |
| 小規模保育 事業所 (2歳児クラス まで) | 家庭保育園ひだまり (木野西通19丁目23番地) | 生後57日目を経過～ 2歳児まで | (株)Animato |
| | りとる・ちっぷす音更 (木野大通東16丁目2番地) | 生後57日目を経過～ 2歳児まで | (一社)ちっぷす |
| | とかち帯広YMCA保育園 (南鈴蘭南4丁目5番地5) | 1歳児～2歳児まで | (公財)北海道YMCA |

※ 幼稚園、認定こども園の幼稚園部分の利用を希望する方は、各施設に直接お問い合わせください。

※ 実際の募集人数は、継続児童のクラス持ち上がりや職員配置等によって決定します。状況によっては、受入可能な月齢であっても、募集人数が0人となる場合もあります。

2 応募できる方

応募できる方は、令和4年4月1日現在において、次の要件の全てに該当している方です。

- (1) 音更町に住民登録がある。
- (2) 保護者が、保育を必要とする次の事由のいずれかに該当している。

【保育を必要とする事由】

| | |
|----------------------------------|------------------------------|
| ア 月に48時間以上の就労 | カ 求職活動(起業準備を含む。) (最大90日間) |
| イ 妊娠、産後間がない (生後8週を経過する月の月末まで) | キ 就学、職業訓練 |
| ウ 疾病、障がい | ク 虐待やDVのおそれ |
| エ 同居親族等の介護、看護 | ケ その他町長が認める場合 |
| オ 災害復旧 | |

※ 施設ごとの受入児童の月齢は、1ページ「募集対象施設」をご覧ください。

※ 求職活動(起業準備を含む)により4月に入園された方の有効期間は、6月末までです。この間に就労等の他の事由に該当されない場合は、原則として退園することになります。他の事由も有効期間がある場合は、同様に期限までに他の事由に該当することが必要となります。

※ 毎年9月頃に、現況届として保育を必要とする事由や世帯状況の届け出をしていただきます。

3 教育・保育給付認定

対象施設を利用する場合は、利用のための「認定」を受けていただきます。

「認定の申請」と「利用の申込み」は、一緒に行うことができます。

| 認定区分 | 子どもの年齢 | 保育を必要とする事由 | 利用できる施設 | 保育時間 |
|------|--------|------------|-------------------------------|----------|
| 2号認定 | 3歳以上 | あり | 保育所 認定こども園(保育所部分) | 保育標準時間※1 |
| 3号認定 | 3歳未満 | あり | 保育所、小規模保育事業所 認定こども園(保育所部分) | 保育短時間※2 |

※1 保育標準時間…1日最長11時間の保育時間
(保護者の就労時間が月120時間以上)

※2 保育短時間……1日最長8時間の保育時間
(保護者の就労時間が月48時間以上120時間未満)

4 募集人数

各施設の年齢別の募集人数については、10月25日(月)頃に、町ホームページと町広報11月号において、お知らせする予定です。

5 応募方法

原則として、受付場所への持参とします。町外にお住まいなど、持参による申込みが難しい場合は、お手数ですが6ページの間合せ先までご連絡ください。なお、郵送に要する費用は、申込者の負担となります。

6 受付場所、期間

| 受付場所 | 受付日 | 受付時間 |
|--------------------------|---|--|
| 役場 (子ども福祉課 子育て支援係) | 令和3年10月27日(水)から 令和3年11月9日(火)まで (土・日・祝日を除く。) | 午前8時45分 から 午後5時30分まで ※11月2日、9日(火)は午後7時00分まで |
| 木野支所 | 令和3年11月2日(火) | 午前8時45分 から 午後7時00分まで |

7 必要書類 **※ご記入にあたっては、鉛筆やインクが消せるペンは使用しないでください。**

必要書類は、次のとおりです。不備があると申込みをお受けできませんので、ご注意ください。

| 書類の種類 | 作成上の注意点等 | |
|------------------------------------|---|--|
| 1 教育・保育給付認定申請 (保育園等利用申込)書 | ○ 申し込む児童1人につき、1通作成してください。 | |
| 2 就労証明書 または 保育の利用を必要とする申告書 | ○ 申し込む児童の数にかかわらず、父親、母親で1通ずつ、次のうち該当する書類を作成してください。 ・就労の方… <u>就労証明書</u> を提出してください。 ・就労以外の事由の方… <u>保育の利用を必要とする申告書</u> を提出してください。なお、事由によっては以下の添付書類が必要です。 | |
| ※令和4年4月1日の状況に 該当する様式・事由を提出すること。 | 就労以外の保育を必要とする事由 | 添付書類 |
| | 妊娠中、産後間がない | 母子手帳(出産予定日のページ)の写し ※令和4年2月4日以降の出産予定であること |
| | 疾病、障がい | 診断書(町で定める様式。個別にお問い合わせください)、障害者手帳の写し等 |
| | 同居親族等の介護、看護 | 介護する方について(町で定める様式。個別にお問い合わせください)等 |
| | 就学、職業訓練 | 在学証明書、職業訓練受講証明書等の写し |
| | 【例1】両親とも就労の場合…父母それぞれの就労証明書 【例2】父就労、母求職の場合…父は就労証明書、母は保育の利用を必要とする申告書(求職活動にチェック) | |
| 3 令和3年度の所得と課税状況が分かる資料 | ○ 令和3年1月1日現在、音更町以外にお住まいだった方は必要です。 ※教育・保育給付認定申請(保育園等利用申込)書に保護者の個人番号の記載がある場合は、マイナンバー制度における情報連携により課税状況を把握します。ただし連携不可の場合や、利用調整で所得資料が必要な場合は、別途資料の提出を求めることがあります。 【資料の例】いずれの資料も写しの提出でかまいません。 | |
| | 市区町村民税 特別徴収税額通知書 | 給料から市区町村民税が天引きされている方。 会社等から5月頃に交付される。 |
| | 市区町村民税 納税通知書 | 自営の方や、給料から市区町村民税が天引きされていない方。市区町村より5～7月頃に通知される。 |
| | 市区町村民税 所得課税証明書 | 上記のいずれも手元にない方。当時お住まいだった市区町村に申請し、交付される。 |

電子申請について・・・「6 受付場所、期間」の期間中、ぴったりサービス (<https://app.oss.myna.go.jp/Application/search>) から電子申請することも可能です。ただし、就労証明書や保育の利用を必要とする申告書等は別途提出が必要なほか、マイナンバーカード（電子証明機能付）や電子申請に対応するハードおよび環境設定、ICカードリーダーなどの準備が必要となります。

8 利用者負担額（保育料）等

(1) 利用者負担額

利用者負担額は、世帯の町民税の課税額によって、次の表の階層区分ごとに金額が決まります。

【料金表】

| 階層区分 | 世帯の区分 | | 世帯の 推定年収 | 月額 | | |
|------|------------|----------------------------|-------------|----------------|------------|-----|
| | | | | 3・4・5歳児 クラス | 0・1・2歳児クラス | |
| | | | | 標準・短時間 | 標準時間 | 短時間 |
| 第1階層 | 生活保護 | | — | 0円 | | |
| 第2階層 | 町民税が非課税 | | ～260万円 | 0円 | | |
| 第3階層 | 1 | 町民税均等割のみ | | ～310万円 | | |
| | 2 | 町民 税所 得割 の合 算額 | 48,600円未満 | ～330万円 | | |
| 第4階層 | 1 | | 60,700円未満 | ～360万円 | | |
| | 2 | | 72,800円未満 | ～380万円 | | |
| 第5階層 | 3 | | 84,900円未満 | ～420万円 | | |
| | 4 | | 97,000円未満 | ～470万円 | | |
| 第6階層 | 1 | | 133,000円未満 | ～520万円 | | |
| | 2 | | 169,000円未満 | ～640万円 | | |
| 第7階層 | 301,000円未満 | | ～930万円 | | | |
| 第8階層 | 397,000円未満 | | ～1,130万円 | | | |
| 第9階層 | 397,000円以上 | | 1,130万円超 | | | |

推定年収はあくまで目安です。上記の額の範囲内でも、異なる階層になることがあります。実際は、世帯の状況、均等割、所得割の額などによって決まりますので、詳細をお知りになりたい場合は、6ページの間合せ先へお問い合わせください。

- 小学校就学前の子どもで、1番目の子は上記料金表の全額、2番目の子は半額、3番目以降の子は無料となります（多子軽減）。また一定の所得以下の場合、小学生以上の子を判定に含める多子軽減の拡大措置があります。
- 0～2歳児クラスで、階層区分が第5階層2以下かつ生計を一にしている子どものうち2番目以降の子である場合は、保育料が無料となります。
- ひとり親世帯、在宅障がい児のいる世帯などは、一定の所得以下の場合、軽減措置があります。
- 世帯の収入状況によって、同居親族（祖父母）を算定対象に含む場合があります。

【用語解説】

- 均等割…地方税法第292条第1項第1号に規定する均等割の額をいい、世帯の状況に応じた一定の所得を超えると定額で課税されます。
- 所得割…地方税法第292条第1項第2号に規定する所得割の額をいい、所得の状況に応じた額が課税されます。なお、保育料の算定においては、①調整控除（第314条の6）は適用しますが、②寄付金税額控除（第314条の7）、③外国税額控除（第314条の8）、④配当所得控除（附則第5条第3項）、⑤住宅借入金等特別税額控除（附則第5条の4第6項、第5条の4の2第6項）などの控除は、適用しません。

(2) 3歳児クラス以上の副食費について

3歳児クラス以上は、4ページ「利用者負担額」の他に、副食費が別途かかります（主食の提供を希望する場合は主食費も別途800円かかります）。金額については、各事業所において決定し、徴収します。ただし、以下のいずれかの条件に当てはまる場合は、副食費が免除されます。

○年収360万円未満相当の世帯の児童

○同一世帯内の施設を利用している未就学児童のうち、上から数えて第3子以降の児童

※給食費が免除されない方への通知は行いません。

(3) 利用者負担額の切替時期

利用者負担額は、4月分から8月分までは前年度の町民税、9月分から翌年3月分までは当年度の町民税により算定します。

【令和4年度の場合】

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|------------------------------|----|----|----|----|------------------------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 算定根拠 | 令和3年度の町民税 (令和2年1月～12月の収入) | | | | | 令和4年度の町民税 (令和3年1月～12月の収入) | | | | | | |

年収としては多少の増減であっても、階層区分が変わる場合は、利用者負担額が増減することがあります。

また、その際に軽減措置の対象になったり、対象外になったりすることで利用者負担額が大幅に増減することがあります。

(4) 利用者負担額の納付先

利用者負担額は、利用する施設により、次の表のとおり納付先が異なります。

| | | |
|--|---|------------|
| 木野北保育園、柳町保育園 木野南保育園、鈴蘭保育園 | ⇒ | 音更町に納付 |
| 音更認定こども園、緑陽台認定こども園 宝来こども園、駒場認定こども園 認定こども園音更大谷幼稚園 家庭保育園ひだまり、りとる・ちっぷす音更 とかち帯広 YMCA 保育園 | ⇒ | それぞれの施設に納付 |

9 利用調整の方法および結果等の通知

(1) 利用調整の方法

7ページの「保育園等利用調整基準」に基づき順位を決定します。同一順位の応募が複数の場合は、世帯の合計所得の低い順に利用予定者を決定します（令和3年1月以降に音更町に転入した場合など、所得の判定ができない場合は追加資料を求める場合があります）。

利用調整において希望がかなわなかった方は、その時点で募集定員に達していない施設の利用

を希望することができます。

(2) 利用調整の結果等の通知

利用調整の結果は、12月下旬頃に文書で通知します。また、入園に当たっては、年明け1月、2月頃に内定した施設と面談をしていただきますが、その日程についても併せて通知します。

10 注意事項（必ずお読みください。）

(1) 必要書類のご記入にあたっては、鉛筆やインクが消せるペンは使用しないでください。

※鉛筆やインクが消せるペンでのお申し込みはお受けできません。

(2) 必要書類の提出時に、提出日の前日までの応募状況をお知らせすることができます。必要な方は、お申し付けください。

(3) 必要書類の提出後における利用希望施設や希望順位の変更については、次のとおりお受けします。

ア 受付場所

役場 子ども福祉課 子育て支援係（木野支所ではお受けできません。）

イ 受付期間

3ページの受付期間と同じ。

※ 受付期間後は、変更することができませんので、ご注意ください。

(4) (3) 以外の記載内容（保育を必要とする事由や住所等）に変更があった場合は、ご連絡ください。

(5) 必要書類が受付期間内に提出されない場合、応募を受理できません。 提出書類の一部がやむを得ず受付期間内に提出できない場合は、ご連絡ください。

(6) 求職活動（起業準備を含む。）により4月に入園された方の有効期間は、6月末までです。この間に就労等の他の事由に該当されない場合は、原則として退園することになります。他の事由も有効期間がある場合は、同様に期限までに他の事由に該当することが必要となります。なお、就職が決まった場合など、保育の必要な事由や世帯の状況に変更があったときは、変更届の提出が必要となりますので、利用施設または役場へご連絡ください。

○ 連絡・問合せ先

音更町役場子ども福祉課子育て支援係（電話：0155-42-2111 内線 537・538、FAX：0155-42-5160）

保育園等利用調整基準

利用調整は、次の表1による基準点数と、表2による調整点数の合計により行います。
合計の点数が同順位の場合は、世帯の合計所得の低い順に利用予定者を決定します。

表1 保護者の状況による点数の基準（基準点数）☆令和4年度調整分より点数が変更となりました

| 区分 | 保護者の状況 | | 基準点数 |
|----|-----------------------------|--|------|
| 1 | 就労（1月の就労時間が48時間以上） | 月の就労時間が160時間以上 | 10 |
| | | 月の就労時間が140時間以上 | 9 |
| | | 月の就労時間が120時間以上 | 8 |
| | | 月の就労時間が80時間以上 | 7 |
| | | 月の就労時間が60時間以上 | 6 |
| | | 月の就労時間が48時間以上 | 5 |
| | | 単身赴任による就労 | 10 |
| 2 | 妊娠中・出産後間がない | | 6 |
| 3 | 保護者の疾病・障がい | 入院、寝たきり、医師により児童の保育が不可能と診断された場合 | 10 |
| | | 上記以外で、医師により日常生活に著しく支障があり、児童の保育が困難であると診断された場合 | 8 |
| | | 医師により部分的に児童の保育が困難であると診断された場合 | 6 |
| 4 | 親族の介護等 | 入院等の者の常時付添い、寝たきりの者等の常時介護 | 10 |
| | | 上記以外 | 6 |
| 5 | 災害復旧（災害による被害の復旧のため保育ができない。） | | 10 |
| 6 | 求職活動（起業準備を含む。） | | 3 |
| 7 | 就学（職業訓練等を含む。） | 月の就学時間が160時間以上 | 10 |
| | | 月の就学時間が140時間以上 | 9 |
| | | 月の就学時間が120時間以上 | 8 |
| | | 月の就学時間が80時間以上 | 7 |
| | | 月の就学時間が60時間以上 | 6 |
| | | 月の就学時間が48時間以上 | 5 |

表2 保護者の世帯の状況による点数の基準（調整点数）

| 区分 | 世帯の状況 | 調整点数 |
|----|---|------|
| 1 | 保護者の不在（死亡、離婚、行方不明、拘禁等） | 10 |
| 2 | 兄弟姉妹が既に保育認定を受けている（転園の申込みの場合） ※兄弟姉妹の希望施設が同一施設の場合に限る | 6 |
| 3 | 兄弟姉妹が既に保育認定を受けている（新規の申込みの場合） | 4 |
| 4 | 兄弟姉妹が新規かつ同時に保育認定を申請（3人以上又は双子） | 3 |
| 5 | 兄弟姉妹が新規かつ同時に保育認定を申請（2人※双子を除く） | 2 |
| 6 | 生活保護世帯又は生活保護基準に該当する世帯 | 3 |
| 7 | 申込みに係る児童が小規模保育事業所等を卒園予定 | 3 |
| 8 | 申込みに係る児童が障がい児（身体・精神・療育のいずれかの障害者手帳保有者又は特別児童扶養手当支給対象児童） | 2 |
| 9 | 保護者が町内の保育所または認定こども園で保育士として採用又は復職予定 | 2 |
| 10 | 主たる生計維持者である保護者が倒産、リストラ等の理由により日々求職活動をしている。 | 1 |

